

# 「マークテック」見参!

今回の「マークテック」見参には、マークテック株式会社(本社)東京都大田区大森西四丁目17番35号、TEL 03-3762-4451、西本

非破壊検査とは、様々な部品や製品を壊さないで微細な欠陥を見つけ出す技術である。自動車、鉄道、航空機、橋梁、発電所、化学プラント等の事故防止に重要な役割を果たす。人間で言えば健康診断に相当し、我々の安全な生活に無くてはならないものである。日本にこの検査方法が本格的に紹介されたのは1952年頃のこと。この時期に同社は研究所を設け、非破壊検査用品の生産研究に着手した。当時はまだ小規模な研究がなされているにすぎなかったが、同社は非破壊検査の

重要性に着目、1955(昭和30)年に特殊塗料株式会社として設立し、日本初の非破壊検査機材の専門メーカーとして塗料、金腐探傷剤の製造を設立し、マークテックの本格展開を開始する。その後、1987年に特殊塗料(株)がマークテックを吸収する形で合併し、社名をマークテック株式会社に変更、非破壊検査とマークテックの二本柱とする新しい業務体制となった。国内拠点としては1999年に千葉真香取郡大栄町工業団地に成田工場を建設し、研究開発、成品製造、機械製作部門を同工場に集約。また、顧客の

## マークテック

その1

### 金属探傷剤の最大手

#### アルコニックス グループで新展開 海外進出を推進



マークテック本社(東京都大田区)

海外進出に伴ってグローバル展開も本格化、95年から中国、97年韓国、05年タイにそれぞれ現地法人を構え、15年にはインドネシアに駐在員事務所を設置している。

2016年2月、マークテックは、アルコニックス(株)と資本業務提携によりアルコニックスグループの一員となった。アルコニックスは株式会社取得に当たって「マークテックの、金属製品の非破壊検査(表面探傷検査)と金腐探傷剤の両事業を、中国、韓国、並びにパイオニア企業である国内のみならず海外でも、国内における高いブランド力、技術力を生かして、中国、韓国、並び

にとつて新しい事業分野であり、同社がグループに加わることによって、非鉄金属業界において、より一層厚みのあるユニークな企業グループを形成することが出来る」としている。2017年12月のマークテック単体での売上高は36億6900万円。アルコニックスの決算概要によると「自動車、鉄鋼業界向けに探傷剤等の消耗品関連の出荷が増加。また低迷していた中国とタイにおける製造子会社の業績も探傷剤等を中心に出荷が増加した」という。マークテックの常務執行役員である小野友弘営業部長は、「当社が継続して注力しているのは新製品の開発。昨年は航空機産業向けに特化したLEDフラッシュライトを開発し12月に発売した。今年にはユーザーのニーズ多様化に対応するためのさらなる新しいタイプを開発中である。そのほか今年2月に二次元コード印字機能を新搭載したペイントジェットプリンターを開発しリリースした。また、全自動磁粉探傷装置のニーズは高まっており、既存の技術をブラッシュアップし今後の引き合いに対応したい」と語っている。また、「協業パートナーとの連携にも注力。X線装置の販売は順調に伸びており、熱間マークテック装

